

森とつながり



Brazil

僕たちの巣は
大丈夫かなあ？

美しいアマゾン熱帯雨林



スマイレコンゴウインコ



Photo: amolife.com

John Cothron www.flickr.com/cothronphoto

水銀汚染

1992年、ブラジルのリオデジャネイロで開かれた地球サミットで、金を採るために使う水銀が川や大地を汚染することが注目されました。水銀の種類には、自然界で毒性に変わるものがあるからです。

W杯サッカーが開催されるブラジルは、豊かな自然でも有名です。世界の植物の20%、鳥類の20%、哺乳類の10%が棲息するといわれます。世界最大の熱帯雨林、アマゾンの奥地では、昔から金の採掘が行われていました。

森から金が出た！



ブラジルの研究員を指導する赤木洋勝先生。

日本人研究者の指導



「私の研究への意欲の原点は、水俣の人たちを目の前で見てきたからこそ。経済優先で物事が進んでいる時、一方で何かが起こっているかも知れない、それを想像することを忘れないでほしいです。」

自然とつながり

ブラジルの研究者が相談を持ちかけたのが、水銀分析の第一人者、赤木先生でした。先生は、環境や人体に有毒な水銀がどれだけあるか測る方法を生み出した人で、技術を現地へ伝えました。ブラジルは、水銀対策のモデルとなり、ペルー、コロンビア等とも情報を共有するようになりました。研究者たちは、水銀の量が急に増えていないか等を調べながら、村の人たちと共に川を見張っていきたくて考えています。

減っていく森にできることはないかな？

アグロフォレストリーって知ってる？

森をつくる農業とも呼ばれ、樹木と農作物、牧畜などを組み合わせた農法です。焼畑で得る土地よりも長持ちするといわれます。成功例のひとつに、アマゾン河口域のブラジル日系移住地トメアスがあります。金を掘って痩せた土地での森林再生や、金採掘労働者の村に、農業でも生活できるようにする取り組みもしています。



その農法で育てた原料で作られた商品があるよ。
明治「アグロフォレストリーチョコレート」(原料:カカオ)



かえるマークは自然を保持しながら栽培された作物についているよ。

美しい森が切られ、魚の数が減っているインコ



ジャガーが食べる魚は安全かな？



(C)Y.-J. Rey-Millet / WWF-Canon
環境団体 WWF もブラジルの森林の保全活動を行っています。

公害は、経済成長只中で被害の原因発見が遅れました。アマゾンでも、お金のために金を掘ることで森が壊されています。自然が壊されると、植物や動物たちはどうなるのでしょうか？ 想像してみてください。

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーす ぷらざ

発行：神奈川県立地球市民かながわプラザ 指定管理者：公益社団法人 青年海外協力協会・株式会社 金港美装

問合せ：〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1 TEL 045-896-2121 FAX 045-896-2299 <http://www.earthplaza.jp>

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館）〈貸出施設を除く〉

あーすぷらざは、国際理解や平和、地球規模の課題について、展示やセミナーを通して学ぶ場所です。 ■再生紙を利用しています。

